

## The Northern eXpress to 212

# NeXT-press-212

145

オンラインプレス「NEXT212」毎週月曜日発行  
PM実践講座事務局 / 地域メディア研究所  
Fax (011)761-8483 Tel (011)761-6039

vol.145 27.Dec,2003

年末特集 ..... 2003年町村ワッチ 40+10選

## 古い日記 2003 KOUHAKU Remix

...「雪の華」舞う「函館本線」。  
「Choo Choo TRAIN」北へ帰る。「さそり座の女 2003」振り返れば、日本国中「SO CRAZY」。少年の凶悪犯罪にネット心中、メロンにサクランボ、コメ盗っ人。「ね～え？」「なんでだろう」。あゆじゃないけど「No way to say」。ついつい愚痴も止まらぬ「じょんから女節」。

...「Stay by my side」ブッシュが言えば、小泉首相「ふたり傘」。それもそうだよ「兄弟船」の杯交わした仲だから。イラク攻撃支持はすれども、説明責任どこ吹く風の「無言坂」。庶民の痛みはどこまで続く「Long Road」。改革断行、掛け声倒れ。今や「風雪ながれ旅」。

...「佐賀県」を探せ、とばかにするけど、地方には「美しい昔」が今もある。「鳥取砂丘」に立って「見上げてごらん夜の星を」。「Last Song」空に唄えば「君は薔薇より美しい」。それに比べりゃ「東京砂漠」。六本木ヒルズも悪くはないが、咲かせたいのは「曼珠沙華」。

...「能登半島」から「いい日旅立ち・西へ」チャレンジ。松井選手の「あばれ太鼓」。ワールドシリーズで見せた「FULL JUMP」。「さくら」男児の勇気に「ありがとね!」。ゴジラにならって「またあした」。「元気を出して」「しあわせになろうよ」。熱いハートがあれば、棄てたものでもないはずさ。「AMBITIOUS JAPAN!」(梶)

## 2003年自治体ワッチ50選 (町村編)

com212-File から

合併特例法の期限切れを前に、地域の自立をめぐる協奏曲がさまざまな音色を響かせた2003年が間もなく幕を閉じます。新しい地域の時代をどう開くか、全国の市町村が住民が、模索した1年でした。地域メディア研究所の「com212.ocm」サイトと「NEXT212」ファイルから、地方の姿を象徴する町村の新しい動きや地域の課題への対応を中心にNEXT編集室が出来事50を選び、2003年を振り返ると。

	自治体	内容
1	山岡町(岐阜県)	住民総参加でNPO設立
2	香川町(香川県)	9町が合併に頼らない「町村連合」
3	知念村(沖縄県)	地域の雇用情報を村が発信
4	奈井江町(北海道)	合併問題で小学生も住民投票
5	志布志町(鹿児島県)	「子ほめ条例」第1号の90人に金メダル
6	田野畑村(岩手県)	国県からの「押し付け事務」返上へ
7	上勝町(徳島県)	森林・農地保全の担い手を全国公募
8	中島町(愛媛県)	島民の熱意でADSLサービス誘致
9	神流町(群馬県)	一般民家に都会人招く「田舎特区」申請
10	滝沢村(岩手県)	部課長人事を全職員の投票で決定

## TOP 3

## 山岡町(岐阜県) 住民総参加でNPO設立

山岡町の全世帯1525戸が参加して、町から委託された保健、福祉、環境保全などの活動を展開する「NPO・まちづくり山岡」の設立準備会が開かれ、近く認証取得を申請することになった。過疎の振興に歯止めをかけ、市町村合併後も公共サービスの水準を維持しながら、住民本位のまちづくりを進めるのが目的。(3/26)

## 香川町(香川県) 9町が合併に頼らない「町村連合」研究会結成

香川、香南、直島、綾南、国分寺、綾上、三木、牟礼、庵治の9町は、事務処理の一元化など行政コスト削減を目的とした「町村連合」の設立を目指す研究会を結成、総務・企画課長らによる初会合を開いた。それぞれの地域の固有の文化を守りながら、市町村合併した場合と同等の効果のある行政改革を実現するのが狙い。(4/9)

## 知念村(沖縄県) 地域の雇用情報を村が発信

知念村は、村内の失業者や就労希望者の名簿をデータベース化し、人手の足りない農家などに情報を提供する「雇用創設支援バンク」事業をスタートさせた。村内外から求人・求職情報を集めるとともに、役場内のボードとインターネットを活用し、双方に無料で情報提供する。雇用向上と同時に、地域産業の生産拡大に成果が期待されている。(4/1)

## 4 ~ 10 位

奈井江町（北海道） 合併問題で小学生も住民投票

近隣4市4町との合併の是非を問う住民投票のうち、18歳以上の「一般投票」に先立って5年生以上の小学生と中学生による「子ども投票」を実施した。「合併する」「合併しない」のいずれかに付ける方式で、町長と町議会は投票結果を参考にする。（10/22）

志布志町（鹿児島県）「子ほめ条例」第1号の90人に金メダル

2003年度から施行した「子ほめ条例」の表彰者90人を選定、金メダルを授与した。ボランティア活動や親孝行、スポーツ、読書など12項目について日頃から努力している子供たちが対象で、地域住民の声を聞きながら学校長が町教委に推薦して決めた。（7/14）

田野畑村（岩手県） 国県からの「押し付け事務」返上へ

国や県から処理を求められた事務のうち、過剰な関与があるものや非効率なものについては2003年度から返上していく方針を決めた。事務事業の見直しの中では、少なくとも13事務が該当するとみられる。（2/10）

上勝町（徳島県） 森林・農地保全の担い手を全国公募

森林や農地を保全・管理する担い手の育成などを目的とした森林農地適正管理条例と条例の2案を議会提案した。新年度に森林・農地の管理組織を設立し、U・Iターン希望の職員を全国から公募する。町独自の「森林農地管理士」の資格取得者に給与や住居を提供し、間伐や農作業を請け負ってもらう。（3/12）

中島町（愛媛県） 島民の熱意でADSLサービス誘致

中島町の住民らが、1年余り本島内への誘致活動を続けてきた高速通信回線ADSLのサービスがスタートした。住民らは「過疎地でこそインターネットは威力を発揮する」と署名活動に取り組み、300人の署名を受けた武田満幸町長がNTT西日本と交渉した。開設条件を上回る約180人が仮契約したことで、通信無線設備の整備が実現した。（3/11）

神流町（群馬県） 一般民家に都会人招く「田舎特区」申請

一般の住宅を民宿に利用して都会の人を受け入れる「かな田舎交流体験特区」を内閣府に申請した。旅館業法の設備基準の除外特例のほか、塩素消毒していな「いわき水」を宿泊施設で提供したり、農地法の規制緩和による交流農園の開設などを求めている。3千円程度の低料金で、都会では味わえない山の暮らしを体験してもらう「神流方式グリーツーリズム」が特徴。（11/26）

滝沢村（岩手県） 部課長人事を全職員の投票で決定

柳村純一・滝沢村長は、2004年度の部課長級人事を全職員300人による投票で決める考えを明らかにした。部長級ポスト8、課長級33のうち、年度末に定年退職で空席となる各2ポストについて、全職員が適任者の名前を挙げる。職員の意識向上に加え、職員の満足度に基づき組織強化を図るのが狙い。（7/14）

## 11 ~ 20 位

## 三野町（香川県）常設型の住民投票条例案を可決

三野町議会は、常設型の「まちづくり住民投票条例」案を可決した。町や町民に利害関係を有する事案で、二者択一方式によって賛否を問える政策が対象。有権者数の3分の1以上の署名に基づく議員提案・議会承認または町長発議によって実施し、18歳以上の町民と町内の永住外国人が有権者となる。12月1日施行後、合併問題をめぐる住民投票が行われることになりそうだ。(9/19)

## 佐土原町（宮崎県）合併条件に町長が「地域自治組織」案

戸敷正・佐土原町長は、宮崎市と合併する場合の条件として、法人格のある「地域自治組織」の設置に関する私案をまとめた。自治組織の長は公選で、地域住民の声を施策に反映させるよう意見を述べる事ができる諮問機関「地区審議会」を合併後10年に限り設置することなどが柱。財源移転や事務処理権限も認めるなど国の制度改革も必要なため、総務省に提言書を提出する。(9/19)

## 梓川村（長野県）景観担う小規模農家にも利子助成

農機具などを購入する際の利子助成制度の対象を、兼業農家や自家用作物を栽培する「生きがい農家」にも拡大することとし、関連予算を議会提案した。村内農家の86%を占める小規模農家を支援することで、安曇野地方の田園風景を形成している農地の保全につなげるのが目的。(9/9)

## 馬路村（高知県）自立の道目指して村民協議会設置

合併に頼らない単独自立の方針を決めた馬路村は、観光協会や青年団、老人クラブなど各種団体の代表者ら48人による「自立協議会」を設立した。総務、住民、産業、教育の4部会に分かれ、住民と行政の協働による村づくりや行財政の効率化策などを協議し、具体策をまとめる。(9/4)

## 吉田町（埼玉県）住民と大学生「カブトエビ農法」実用化へ

吉田町の住民と東京農業大学の学生による「ハウネンエビ・カブトエビを守る会」は、カブトエビを使って水田の雑草を減らす「カブトエビ農法」に取り組んでいる。カブトエビがいる水田が、いない水田に比べて約40%も雑草が少なかったことから、3年前から実用化を目指している。将来は、地域特産の「無農薬カブトエビ米」としてブランド化する計画。(6/7)

## 大磯町（神奈川県）「地域協働課」を新設

4月の機構改革で、福祉窓口を一本化するとともに、町民との連携を進めるための「地域協働課」を新設する方針。町民課に新設の「町民窓口班」は、住民票や税務関係の窓口を一本化し、「ワンストップサービス」を目指す。(2/26)

## 久御山町（京都府）温室効果ガスを10.9%削減、大幅に目標上回る

地球温暖化防止を目的に2002年度からスタートさせた「久御山セービングプラン」の初年度の達成状況をまとめた。電気使用料は4.8%、液化天然ガス19.5%、液化石油ガス11.6%、軽油8.5%といずれも削減目標を達成した。これにより、二酸化炭素など温室効果ガスの削減量は、5年間の目標としていた3%を大幅に超える10.93%に達成した。(7/31)

## 南風原町（沖縄県） 住民参加で「役場通り」計画をデザイン

南風原町は、県道82号線の拡幅に伴う「役場通り」の街並みデザイン基本計画策定に、町民の意見を反映させようと、デザインシンポジウムを開いた。住民ワークショップの一環で、町民約100人が参加し、アイデアを出し合った。シンポジウムに続き、街歩きツアーなど7回のワークショップを行う予定。（9/24）

## 信濃町（長野県） 住民150人が「自立の町づくり」に参画

合併に頼らない自立の道を選んだ信濃町は、住民自身が町政の課題を考え、政策を提言する「プロジェクトチーム町づくり委員」を近く発足させる。公募に応じた101人を含む150人の委員は、月1回の会議に無報酬で参加し、「若者定住」「福祉・介護」「魅力ある農業づくり」など10のテーマについて議論する。町は、提言を最大限、町政運営に反映させる方針。（12/2）

## 時津町（長崎県） 実際に「におい」をかぎ、悪臭を規制

時津町は、人間が感じるにおいを指数化して悪臭を規制する「臭気指数規制」を2004年度から導入する。これまではアンモニアなど特定悪臭物質についての濃度規制だけだったが、臭気指数規制の導入により飲食店などから発生するの悪臭にも対応できる。採取した臭気を無臭の空気で薄めた袋と、無臭の空気が入った袋2つから、複数の人間が臭気入りの袋を選ぶ。（9/8）

## その他の20選

- 上那賀町（徳島県） 3町村で広域CATV網を整備（5/2）
- 福岡町（富山県） 性同一性障害者の公文書の性別欄削除（7/10）
- 泰阜村（長野県） 合併に頼らない村目指す村長が出版（7/15）
- 立山町（富山県） ISO取得、家庭・学校も独自認証へ（8/28）
- 日義村（長野県） 木曽川上流11町村も水源森林保全基金造成（8/11）
- 満濃町（香川県） 上流域自覚し「水道水源保護条例」を制定（7/1）
- 檜川村（長野県） 水源の森林整備へ基金条例（3/11）
- 大佐町（岡山県） 家庭から回収した廃食用油を再資源化（4/14）
- 葛巻町（岩手県） バイオマスなど新エネルギー導入に補助制度（5/9）
- 岩村町（岐阜県） 町内全域インターネット接続、情報家電実用化へ（8/5）
- 横島町（熊本県） 住民ワークショップで設計の図書館完成（7/7）
- 真鶴町（神奈川県） 公共デザイン統一マニュアル策定へ（4/1）
- 恩納村（沖縄県） 加工情報含む個人情報保護条例案（3/3）
- 萩原町（岐阜県） 新入生用の机は地元産材で製造（4/7）
- 紫波町（岩手県） 町内産木材利用の住宅に補助制度（3/1）
- 三重町（大分県） ファクスやメールで緊急出動要請可能に（10/30）
- 雫石町（岩手県） 議会が議員活動を調査公開（3/13）
- 牛津町（佐賀県） 行政区単位の防犯巡視員制度を導入（7/24）
- 高森町（長野県） 中学生まで医療費無料化（3/5）
- 御津町（兵庫県） 敬老金を現金から地域限定商品券に転換（10/12）

## 番外 10 選

阿南町（長野県） 希望退職応募なければ最大 10%減給

全職員を対象に希望退職者を募集している阿南町の小林謙三町長は、希望者がほとんどいなかった場合、全職員の給与を 8～10%削減する考えを明らかにした。特別養護老人ホームの社会福祉法人への移管に伴い、痛みを分け合うためとして、ホーム関係職員だけでなく約 150 人の全職員を対象に 30 人程度の希望退職を募集している。（10/30）

美和村（茨城県） 合併の影響で「美し村連邦」が解散

村名の頭に「美」が付く全国 10 村で構成する「美し村（うましさと）連邦」が、市町村合併によって存続する村が茨城県美浦村だけになる見通しとなったことから、美和村で最後の会議を開き、解散した。茨城県 2 村のほか、長野県美麻村、岐阜県美並村、三重県的美里村と美杉村、和歌山県美山村、岡山県美甘村、徳島県美郷村、愛媛県美川村が参加し 89 年に「全国美しい村サミット」を開催したのを機に発足した。自然保護や過疎・高齢化対策などをテーマに活動してきた。（10/3）

南アルプス市（山梨県） 旧甲西町が合併直前に住民に入浴券配布

町村合併で南アルプス市になった旧甲西町が、合併直前の 3 月、「閉町記念」として町営温泉の入浴券（800 円相当）を 3 歳以上の町民約 1 万人に 10 枚ずつ計約 8 千万円分を配布していたことが明らかになった。他の旧 5 町村の場合は、閉町・合併記念としてそれぞれ写真集や記念誌、文具、ビデオなどを住民に配布した。（10/3）

和田山町（兵庫県） 支所問題から合併関連予算案を議会が否決

和田山町議会は、生野など 3 町との合併に伴う役場改修費や戸籍システムの統合事業費を含む一般会計補正予算案を、「住民合意が得られていない」として全会一致で否決した。4 町の法定合併協議会では、合併後に他の 3 町に支所を配置することを決めたのに対し、「行財政の効率化につながらない」とする和田山町選出の 2 委員が辞任を表明するなど、論議が紛糾していた。（9/30）

あさぎり町（熊本県） 合併後 4 か月で国保税引き上げ

4 月の合併で誕生したあさぎり町の臨時議会は、国民健康保険税の税率を引き上げる条例改正案を可決した。現行税率は、2002 年 12 月の合併協議会の試算に基づいて 4 月 1 日から適用されたばかりだが、改めて税率を算定したところ、約 7 千万円の不足が判明したため、不足分を税率引き上げと、約 6 千万円の財政調整基金の取り崩しでまかなうことにした。（7/31）

## 地域メディア研究所の「入門講座」シリーズ

プリントアウト・フリーの CD-R ディスク版を頒布



「町長のための～行政評価入門講座」  
 「列島再編入門講座～合併に『NO』と言えますか」  
 特別付録 / 「NEXT212 総集編」  
 「全国市町村財政概要 2000 年度版」  
 詳細・申し込みは <http://com212.com/> で  
 お問い合わせは 電話 011-761-6039

### 東北町（青森県）町外業者の請負契約を議会が否決

東北町議会は、町が求めた総合保健福祉センター新築工事請負契約の承認案を、賛成5反対11で否決した。同工事は、指名競争入札で大手ゼネコンと地元業者との共同企業体が約2億6千円で落札しているが、議員から「地元業者を優先するべき」との異論が出された。（7/15）

### 川尻町（広島県）合併で「エコステーション」廃止へ

川尻町が町内2か所に設置している空き缶とペットボトルの回収拠点「エコステーション」が、2004年4月に予定される呉市との合併に伴って廃止される見通し。95年に設置され、500本投入すると、町内の商店で使える500円の商品券と交換できるポイントカード方式で、年間回収量は200万本以上に達する。自治会単位で回収している呉市側との制度上の統一を図るため。（7/30）

### 浦幌町（北海道）町長給与30%削減で助役、教育長下回る

浦幌町議会は、町長給与を7月から向こう1年間約30%削減する特別措置条例を可決した。これにより町長の給与は月額69万6千円から48万7千円となり、助役（月額60万円）、教育長（同53万9千円）の給与を下回る。4月の町長選挙で初当選した八木忠宏町長は、財政再建に伴う痛みを町民と分かち合うとの理由から、給与削減を公約していた。（6/20）

### 三隅町（島根県）合併論議「過熱」でHPの意見箱閉鎖

三隅町は、浜田市など周辺市町村との合併協議会の設置議案が議会で否決されて以降、ホームページの意見箱で議員を中傷する内容の書き込みが増えていることを理由に、このコーナーを閉鎖した。人権問題に関わるものは、その都度削除していたが、統一地方選が近いことも考慮して、閉鎖を決めた。（3/24）

### 湯沢町（新潟県）滞納対策強化で「収納課」新設

湯沢町は、増え続ける町税の滞納対策として、4月から税徴収を専門に行う「収納課」を新設する。現在の税務課徴収係と、上下水道料金を徴収する水道課業務係を統合、再編し、7人前後の態勢で、徴収強化を目指すとともに、税務部門の独立によって業務全体の効率化を図る。（2/10）



この1年間、本誌をご愛読いただき、ありがとうございました。明るく2004年が皆さまにとって良い歳であることをお祈りいたします。

次回第146号の配信は、1月13日といたします。

地域メディア研究所 / NEXT 編集室  
事務局：電話 011 (761) 6039  
E-mail : next@com212.com



本誌の継続配信のご希望は、E-mailでどうぞ。（配信無料）

NeXT  
press 212